

## あきたエコマイスター県央協議会の活動紹介①

「第12回ゴミのポイ捨てを考える会（in にかほ市金浦飛海岸）」を10月20日（土）に開催しました。

環境保全活動（ゴミ拾い）は本会の行事の中でも基本的で大切な活動です。7月の男鹿市鶴の崎海岸でのゴミ拾いに次いでにかほ市の飛海岸で行いました。近年、海洋のマイクロプラスチックの魚類、そして人類への悪影響問題が取り上げられておりますが、その意識もあり海岸でのゴミ拾いの企画となりました。



当日は天候にも恵まれまさに秋晴れでした。この海岸には「由利海岸波除け石垣（国指定史跡）」として有名な石垣があります。当日の参加者は本会の由利地域在住会員を中心に秋田地域からも集合しました。なによりもうれしかったのは地元のにかほ市土地改良区職員有志の方たちの参加です。

この石垣は江戸時代に地元の住民が藩の支援を受け計画から実施まで行ったものです。日本海の波浪から海岸を保全するとともに波浪や塩害から浜近くまで延びた農地を守る目的もありました。このため、農地を守る改良区の方にも応援をいただいたものです。昔の人たちの志と苦勞を考えながら、貴重な史跡をきれいに保ち地域のお役に立てれば良いと思いました。



さて、肝心のゴミですが、残念ながら道路側から見えない海側の玉石の間にはおびただしいペットボトル空き瓶や発泡スチロール片が散乱していました。

参加した30人あまりで約1時間半かかり、市担当者が用意してくださったトラック2台分にもなりました。やはり、丁寧に拾うより捨てない行動の方が大事だと改めて感じたところでした。

あきたエコマイスター県央協議会 菊地 均